

北海道剣淵高等学校 本校の概要

本校は、今年度創立 70 周年となる町立 1 クラスの総合学科の高校です。「農業国際系列」と「生活福祉系列」、そして今年度より新たに「未来のしんろ系列」が加わり、3 系列を設定しています。

農業国際系列では農業後継者の育成、安全・安心な農産物の生産や加工、流通に関わる人材の育成、農業教育を通して現代社会に必要な課題解決能力の育成に取り組んでいます。

生活福祉系列は超高齢社会を迎えるこれからの日本に対応できる人材、介護の視点から福祉を支える人材の育成を目指しています。

未来のしんろ系列では普通教科を中心に高等教育機関への進学を見据えた科目を設置し、SDGsなどをテーマに探究型の学習を展開します。

また本校では2年次と3年次で委託実習があります。農業国際系列では3年次で、産業現場実習（5日間）、資格取得講習会（5日間）を行います。2年次では、今年度、新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが剣淵町農家での委託実習を行います。

生活福祉系列では、3年次では福祉実習（27日間）を行います。2年次では2回に分け22日間の施設実習を行います。本校は生活福祉系列を選択すると卒業時に介護福祉士国家試験受験資格が得られる高校です。（厚生労働省認可、道内では4校のみ。）昨年度の本校の介護福祉士国家試験合格率は77.8%でした（全国合格率は毎年60～70%程度）。今年度も全員合格を目指し取り組んでいます。

未来のしんろ系列では2年次に地域産業実習を行う予定です。この実習をもとに自らの進路を探り、翌年の学習に繋がります。

本校PTAの活動状況



今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、行える活動が限られてしまいました。数少ない活動の中でも、学校祭ではPTA企画としてじゃんけん大会を行いました。例年とは違った形で生徒との交流を図ることができました。満足のいく活動とまではいきませんでしたが、コロナ禍でもできる活動を協力して行えたと感じています。



社会的に苦境の中ではありますが、PTAとして今後も生徒と保護者、地域を繋いでいく活動を進めていきたいと考えています。